

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

事業所名	岩崎学園新横浜保育園	
報告書作成日	平成28年12月15日	(評価に要した期間 4か月)
評価機関	特定非営利活動法人 NPO 中小企業再生支援	

評価方法

自己評価方法 (実施期間:平成28年9月6日～平成28年9月23日)	・全保育士が参加する職員会議などで話し合い、その結果を、園長と主任保育士がまとめた。
評価調査員による評価方法 (実施日:平成28年10月28日、平成28年11月10日)	・評価調査員2名が2日間に亘り、園を訪問し、園の観察と書類確認、さらに園長、保育士からのヒアリングにより、調査結果をまとめた。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間:平成28年9月7日～平成28年9月13日)	・全園児の保護者にアンケート用紙と回収用封筒を配布し、無記名・密封状態で園に設置した回収ボックスにより回収し、全てを評価機関に持ち帰り分析した。
利用者本人調査方法 (実施日:平成28年10月28日、平成28年11月10日)	・園児の1日の園内での生活を、2日間に亘って観察し、また、給食をともにしながら評価、調査を行った。

評価結果についての講評

<p>【施設の概要】 園は平成22年4月1日に学校法人岩崎学園により開設された定員140名、現在籍人数164名の大型園です。JR新横浜駅より徒歩3分、横浜市営地下鉄ブルーライン新横浜駅より徒歩1分の所にあり、働いている保護者が子どもを預けた後に通勤しやすい場所に立地しています。園周辺は新横浜駅前のビジネス街であること、都内に通勤している保護者も多いことなど地域の状況を考えて「一時保育」「延長保育」などを実施しています。</p> <p>【施設の特徴】 建物は地上8階地下3階建の鉄骨鉄筋コンクリート造りで、学校法人岩崎学園の所有する岩崎学園新横浜1号館の1～2階を岩崎学園新横浜保育園として使用しています。さらに屋上には周辺や上部にネットを張りめぐらした130㎡の人工芝屋上があり、日光を浴び、風を感じる外気浴の園庭として利用し、また夏はプール、それ以外の季節も身体を十分に動かすことのできる運動場として利用しています。 園から徒歩5分の所には、岩崎学園新横浜第二保育園があります。また、その隣の校舎も学校法人岩崎学園が所有し、3階の広い体育館を、運動会や普段の運動遊び、4、5歳児を対象に学校法人岩崎学園が独自に開発した運動プログラム「スマート・ホット・キッズ」に使用しています。</p> <p>【特に優れていると思われる点】 1. 専門職保育士としての人材育成 人材育成プログラムでは研修ばかりではなく、保育士を2つに分け、保育サービスの「質の向上」の方法、地域・保護者との「信頼関係」の構築方法を検討し、実行していることです。職員自らが議論に参加することでやる気を起こし、責任を持つことでモチベーションの維持につながり、結果として保護者の満足につながっています。外部研修一人2回以上、延べ65回参加、地域交流参加25回を目標とし、予定通り進行しています。 また新任保育士にも自覚と責任を持たせ、経験豊かな保育士が指導、フォローする形の人材育成方法も取り入れられています。</p> <p>2. 園の立地と若い保育士の礼儀正しさが保護者の好感を呼び 新横浜駅前という立地、園内が広々として清潔に保たれていることなどに見学者は魅力を覚えるでしょう。入所待機児童が120名を超え、見学者も年間300人をこえる人気です。若い保育士の礼儀正しさ、子どもたちの明るさが保護者に好感をもたれていることが保護者アンケートからもうかがえます。</p>
--

3. 独自の運動プログラムをとりいれ、心身の健康を目指す保育の実践



園は「心身の健康」を理念の中心に据え、4,5歳児を対象に学校法人岩崎学園が独自に開発した運動プログラム「スマート・ホット・キッズ」を実施しています。走り方の指導やダンス、球技及び器械体操という幅広い運動プログラムを実施しており、子どもの動作を撮影して映像分析による指導を行うなど、工夫されています。また、コーチは身体の成長だけではなく、お互いに励まし合ったり、上手くできなくても諦めないよう指導し、運動を通じた心の成長にも力を入れているようです。結果、卒園児の運動能力は地域ではかなり高く評価されるようです。

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="183 387 616 443">I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none">・保育理念として「丈夫な身体と、しなやかな心を持つ子ども」「礼儀正しく、思いやりとやさしさに溢れる子ども」「未来に向かって、夢を持ち続ける子ども」を掲げ、子ども、保護者本位の保育を目指しています。・保育の方針として、「一人ひとりのありのままの姿を認め共感し、一人ひとりを大切に保育」「日々の挨拶や子どもの発した言葉を大切に、子どもたちが互いに学び合い、育ち合う力を育む保育」「独自の運動プログラムを取入れ、心身の健康を目指す保育」「家庭や地域社会との連携を大切に、子どもの健やかな成長を見守る保育」を定め、保育のベースとしています。・この保育理念と保育方針に基づき保育課程と各指導計画を作成し、保育を実施しています。・核家族化が進み、また、待機児童の多い地域への対応として「一時保育」を盛り込んだ「保育課程」を作成しています。・保育課程は、保護者に対しては入園前説明会にて、また入園後も保護者懇談会やクラス懇談会にて説明しています。・保育課程を基に各年間指導計画を作成し、年間指導計画を基に月指導計画を作成しています。週案と日案は月指導計画に基づいて作成し、園長、主任保育士の承認を得て日々の保育を実施していますが、日々の振り返りや反省、子どもの要望によって柔軟に変更しています。 ・週案・日案の実施の前には、子どもたちに分かり易く内容を説明し、子どもからの要望も受け付けています。・担当保育士は子どもが今、どの遊びを気に入っているかを言葉のほかに、表情・態度からも観察し、それを保育に取り入れ子どもの意欲を伸ばすようにしています。乳児クラスではクラスを半分に分けて保育を進めることもあります。
<p data-bbox="183 1388 616 1444">I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none">・入園面接時には、保護者から子どもの生育歴を記入した「児童票Ⅰ、Ⅱ」「児童健康台帳」を提出してもらい、子ども同伴にて面接を行っています。保護者の育児方針（保育方針）や意向、提出書類の記載内容の確認などを行い、面談結果は園の「面接シート」に記録し、個人ファイルに取入れ、保育士全員で内容を共有し、保育に活かしています。・慣らし保育は、子どものストレス軽減を最優先に考え、保護者にその意義を十分に説明の上、協力を要請し、相談しながら進めています。乳児は保護者との距離をとりながら、初日は朝のおやつを食べ終わるまで、2日目は給食を食べ終わるまでのように、子どもの様子を見ながら、約2時間刻みで長くする方式をとっています。

- ・園での生活について、保護者に安心して貰えるように、連絡ノートへの記入や、登降園時の口頭での伝達には充分配慮しています。3～5歳児についてはクラスのホワイトボードを用いて日中の保育の様子を保護者へ伝えていますが、希望する保護者に対しては、個別連絡ノートを利用できる仕組みがあります。
- ・在園児の進級に際しては、クラスの担任保育士の1名は子どもと一緒に、上級クラスへ持ちあがるように配慮しています。
- ・クラスごとに振り返りを行う週案、日案とは別に、月指導計画は、関係する保育士が定期的に見直しを行い、園長や主任保育士の指導・承認を受けて職員会議で報告し、次の月の月指導計画に反映させています。
- ・保護者には、子どもの様子やそれに応じた保育士の対応について、懇談会などの機会を通じて説明し、また、日々の送迎の際にも必要に応じて伝え、併せて保護者から意見を貰っています。

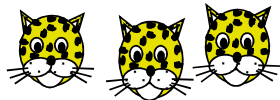
I-3 快適な施設環境の確保



- ・保育園の清潔を保つために、朝は早番保育士、日中と夕方はクラス担当保育士、共用の部屋は遅番保育士というように、園の全ての掃除箇所を分担して清掃し、チェック表に記入することで掃除漏れを無くしています。また、月に一度は「公共清掃の日（大掃除の日）」を設け、エアコンの掃除など時間をかけて丁寧に行っています。
- ・季節、気候に合わせ、床暖房、加湿空気清浄器、エアコン設定などをこまめに調整して保育にあたっています。
- ・各クラス間の音の影響は、リーダー保育士同士が配慮し合っています。また、保育士の声が必要以上に大きくならないように気をつけています。

- ・屋上を含めて計5本の温水シャワーが設置されています。外で水遊びや泥遊びをしたときには温水シャワーを使用し、使用後には必ず清掃しています。また、使用していない日も必ず、1日1度清掃しています。
- ・0～2歳児の保育室は、パーテーションなどで分けたり、マットを敷いたりして空間を分け、小集団保育が行われるようにしています。
- ・食事の場と午睡の場は基本的に同じ場所を使用するため、食事後の活動に廊下やホールを使用している間に、床を消毒し、ベッドを敷いて運用しています。
- ・ホールは全ての園児が集合できる広さであり、各クラスが集まったり、リズム遊びなど、異年齢交流に利用しています。

I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・0～2歳児は、クラス会議で子どもの発達を考慮しながら協議し、園長、主任保育士と相談して「個別指導計画」を作成しています。特別に配慮が必要な子どもについても、「個別指導計画」を作成しています。
- ・「個別指導計画」について、反省や評価による見直しを定期的に行うばかりではなく、子どもの発育に伴う変化が見られたときや別の兆候が見られたときは、随時関係者でケース会議を行い、計画の変更・見直しを行っています。
- ・保護者とはトイレトレーニング・食事などについて、定期・不定期的に個人面談を行い、得た内容は保育に反映しています。

- ・就学予定児については、5歳児クラスの担任保育士が「児童票Ⅰ、Ⅱ」「児童健康台帳」「児童票 発達経過記録」などの「個人ファイル」の中から子どもや家庭の個別の状況・要望に関する情報を「保育所児童保育要録」の所定様式に記入し、園長の承認を得て、小学校に書留にて郵送しています。
- ・入園後の子どもの成長記録は「児童票Ⅰ、Ⅱ」の中に逐次記入しています。
- ・個人別にファイリングされた書類は、個人情報保護のために鍵のかかる書庫に保管しています。また、事務室からの持ち出しは禁止していますが、全保育士は園長の承認を得ることで見ることができます。
- ・個人別にファイリングされた書類は、子どもの進級時に、保育士間での申し送りに利用しています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み




- ・園は配慮を要する子どもの受け入れを積極的に行っています。配慮を要する子どもについては、ケース会議などで話し合っています。また、外部研修には必ず保育士を出席させ、研修報告にて他の保育士も共有し、保育に活かせる体制にあります。
- ・施設はエレベーター設備を含めバリアフリーで、配慮を要する子どもの受け入れ環境が整っています。
- ・港北区の園長会議メンバーとして関係機関と連携しており、また、保護者の了解があれば横浜市総合リハビリテーションセンターとの連携も行います。
- ・虐待事例はありませんが、園には「虐待マニュアル」にそって疑わしい場合も含め、細かい気付きを園長、主任保育士に報告し、通報する体制ができています。
- ・虐待の予兆発見に関しては、絶えず子どもの様子に気を配り、健康確認を充分に行い、不審な怪我やあざ等の発見に努めるようにしています。
- ・「食物アレルギーマニュアル」により、入園時には医師の指示書を基に保護者、栄養士、クラスの担任保育士、看護師、必要な場合には園長も入り、対応について話し合っています。
- ・アレルギー改善のケースもあるので、半年に一度は医師の指示書の更新も依頼しています。
- ・アレルギー食は栄養士・調理士が調理し、子どもの名の入った他とは違う色のトレーに食器を並べ、内容を書き出したバインダーも一緒に、トレーごと保育士に手渡しています。保育士に手渡す時も、内容を声を出して確認しています。
- ・外国籍の子どもに対しては、保育園で一緒に生活しているため違和感なく溶け込んでいます。保育士は異なる国の習慣や子育ての常識を学びつつ、幅広い考えができるように努めています。
- ・保護者が日本語を話せない場合は、簡単な単語をゆっくり話したり、ジェスチャーを用いたりしながら伝えることもあります。

評価分類**評価の理由（コメント）****I-6 苦情解決体制**

- ・保護者には、園の苦情窓口や第三者委員に申し立てができることを入園前説明会で説明し、苦情窓口の担当者や第三者委員を紹介しています。併せて第三者委員を交えての苦情解決のシステムを重要事項説明書、掲示で知らせています。
- ・苦情が起こり園単独で解決が困難な場合には、運営法人の総務部に連絡、相談するとともに、港北区こども家庭支援課と連携を取り解決します。
- ・玄関の前に意見箱を設けており、保護者の声を取り入れています。また、保護者に対しては、担任保育士以外の保育士も日常的に声を掛け、話しやすい体制を心掛け、面談を実施したり、懇談会の際に質疑応答が出来るような時間も設けています。
- ・運営委員には保護者の方から立候補してもらっています。
- ・保育士には苦情に関して月2回の職員会議や毎日行われるミーティングで経過報告をする場を設けています。また、苦情対応の記録表があり、時系列に書き出し記録に残しています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="188 215 475 246">Ⅱ－1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="651 215 1351 322">・玩具は月に1回見直し、点検を行い、各年齢に合った環境構成ができるようにしています。3歳児と4歳児などの年齢の近いクラスの玩具を、子どもの興味に合わせて交換することもあります。<li data-bbox="651 322 1351 383">・ままごとコーナー、紐通しコーナー、など遊びごとのマットを敷いて子どもが落ち着いて遊べる環境を確保しています。<li data-bbox="651 383 1351 517">・体を動かすことを目的として公園へ散歩に出かけた時でも、子どもの発案で秋を発見する散歩に切り替え、落ち葉やドングリを集めるなど、子どもの発想を受け入れ集団活動に取り入れています。集めてきたドングリは保育士が消毒をし、虫が出ないようにした後、制作に使用しました。 <li data-bbox="651 591 1351 725">・屋上にある園庭で稲、ナス、トマトなどを栽培しています。成長過程を観察したり、収穫した野菜を給食室で調理してもらい食べています。企業から提供されたジャンボひまわりの種を使い、ひまわりがどれだけ大きく育てられるかのコンクールに参加しました。<li data-bbox="651 725 1351 891">・4歳児・5歳児の保育室の壁には月々の歌の歌詞を書いた紙が貼ってあり、子どもたちは交流保育時に他のクラスに行って歌を披露したり、一緒に歌ったりして楽しんでいます。カレンダーの裏紙を利用した大きな紙や、カレンダーを繋ぎ合わせた更に大きな紙が用意してあり、子どもたちは自由に絵を描いています。 <li data-bbox="651 943 1351 1025">・子ども同士のけんか等については、保育士は危険がないよう注意深く見守り、できるだけ子ども同士で解決できるよう言葉を添えています。 <li data-bbox="651 1077 1351 1182">・散歩マップには公園の特長を記入し、発達段階、運動能力に応じて遊び先を選ぶことができるようにしています。また、4歳児と5歳児は週1回、学校法人岩崎学園が独自に開発した運動プログラム「スマート・ホット・キッズ」を実施しています。

II-1 保育内容[生活]



・給食で、配膳時に苦手なものは子ども本人の要望で量を減らすこともあります。野菜が嫌いで食べるのできない子どもに対しては、一切れの野菜を「これだけ食べようか」と食べることを勧め、子どもが「食べることができた」という満足感が得られることを大切に、無理なく少しずつ食べられるようにしています。

・季節の行事に合わせた献立をたてるようにしています。七夕には星形に切り抜いたにんじん、ハムを飾ったり、月見の時にはうさぎ型のゼリーを提供したりしています。食後は毎回デザート(主にフルーツ)の提供をしています。

・昼食時やおやつの時、栄養士は子どもたちの様子を見て回り、声掛けをして感想を聞いています。特に国際食や郷土食など、子どもたちが食べ慣れないものを食べる時には気を付けて声掛けをしています。

・午睡時の保育室はブラインドを閉めたり、電気を一部消して、子どもの様子が分かる程度の明るさにしています。季節に合わせた温度、湿度を設定し快適にしています。

・おもらしをした子どもに対しては、周りに気がつかれないようシャワー室に連れて行き、着替えを援助しています。保育士は人権研修を受け子どもに対して心を傷つけるような対応をしてはならない事を学んでいます。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



・健康管理マニュアルがあり、それに基づいた毎朝の視診や、保護者からの情報を元に、子どもの健康状態を把握しています。把握した子どもの健康状態は、朝礼、昼礼の時に全保育士に周知しています。

・入園前に保護者から提出してもらう「健康調査票」、入園後の「経過記録」を一人ひとりのファイルにしています。特別に配慮の必要な既往症(肘内障、喘息、熱性けいれんなど)のある子どもについては一覧表にまとめ、保育日誌の最初のページに綴っておくことで、全保育士が把握できるようにしています。

・0歳児は1年間、毎月0歳児健診を行っています。また、全園児は年2回の健康診断と年1回の歯科健診を行い、結果は一人ひとりの「健康カード」に記録すると同時に、個々の児童票に記載し、入園時からの履歴が一目でわかるようになっています。

・「感染症予防・まん延予防マニュアル」があります。保護者に向けては入園時配布する「入園のしおり(兼:重要事項説明書)」に、「登園許可がいている病気」「登園届けが必要な病気」として感染症名と登園停止期間の基準を明記しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[衛生管理]



・衛生管理マニュアル、清掃マニュアル、清掃手順表、清掃チェック表があります。1日3回の清掃が行われ、清潔が保たれています。運営法人内に衛生委員会があり、保育園からも担当保育士が出席しています。他部署との連携を取り、園内の衛生管理に努めています。

・衛生管理に関する実際的な研修として毎年、嘔吐、下痢などの感染症が流行する前に、看護師より嘔吐処理方法の説明と実地研修を行い、全保育士が嘔吐処理がスムーズに行えるよう努めています。嘔吐処理セットは各部屋に用意してあります。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]





・「安全管理マニュアル」「風水害時対応マニュアル」「事故防止マニュアル」など、安全に関する各種マニュアルがあり、保育士には周知・研修が行われています。



・緊急連絡体制が確立されており、緊急時には保護者へ一斉メールが送信されます。また、災害時伝言ダイヤルを利用することになっています。保護者に連絡がつかない場合を考慮して、毎年代替え引取り人を更新してもらい、緊急時に備えています。

・子どもの怪我については軽傷であっても保護者に伝えていきます。保育士は、詳しい状況説明を送迎時に行っています。必要であれば主任保育士、園長も同席しています。受診が必要な場合は、事故報告書を作成しています。また、園内のヒヤリハット報告書を作成し、事故発生時の状況、反省、改善策を記入しています。



・年に1回不審者対応訓練が行われています。運営法人の職員の指導の下、実践的な訓練が行われ、窓には外から見た人が勘違いして通報しないよう「訓練中です」という張り紙を貼っています。訓練は、保育士にも事前通知されていない状況で突然始まります。不審者の侵入を許した状況からはじまり、非常ベル通報、刺叉の使用方法、不審者の取り押さえ方、子どもの逃がし方、などの訓練を行っています。訓練後は、訓練の反省や指摘事項を基に、「不審者対応マニュアル」を見直しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="185 170 414 197">Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対して気になることがあった場合は、保育士間でその場の状況を尋ねたり、ミーティングで話し合ったりしています。園長は保育の中で気になることがあった時には保育士に個人的に指導したり、全体での一つの事例としてとらえ、ミーティングで話し合いを行い、保育を見直しています。 ・排泄の失敗をしてしまった時には、保育室からは見えない位置にある個室トイレで対応しプライバシーを守れるようにしています。 ・個人情報に関する書類は事務室内の鍵のかかる棚に保管しています。書類は必要な時は見ることができますが、事務室からの持ち出しを厳禁としています。 <p data-bbox="649 539 1353 622">・遊びや食事の席などは子ども一人ひとりに合わせた対応をし、性別による区別はしていません。出席簿はアイウエオ順になっています。</p>
<p data-bbox="185 772 539 799">Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会では、「入園のしおり(兼：重要事項説明書)」を基に園長が保育理念、保育方針、保育目標を詳しく説明しています。年2回行われる懇談会では園への要望や質問に対応したり、行事ごとに出された保護者の意見をすべて集計し、保護者全員に配布し、保育方針などの理解をしてもらえるよう努めています。 ・子どもの送迎時には、伝達表を基に保護者への伝達事項を伝えると共に、子どもの一日の活動の様子を具体的に伝えるようにしています。 ・年1回個人面談の週間を設けていますが、保護者からの希望があれば随時個人面談を行っています。 ・相談内容によっては即答を避け、クラスの担任保育士同士で話し合っています。内容によっては、園長、主任保育士が助言をしています。相談を受けた保育士はミーティングで相談内容を他の保育士に伝え、保育士全員が同じ対応ができるようにしています。 ・園だより「ひだまり」、各クラス便り、給食だよりなどを毎月発行し、子どもの園生活に関する情報を提供しています。 ・年間行事予定は保護者の参加の有無も記載した予定表を前年度末に配布しています。また、月初めに出版している「ひだまり」にもその月の予定を記載しています。 ・保護者会等からの申し出により、部屋を提供したりプロジェクターなどの備品の貸し出しを行っています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流事業である「あおぞら広場」を毎月第3火曜日に開催し、地域住民との交流を図り、施設に対する要望を把握しようと努めています。 ・育児相談は随時受け付ける事をホームページに掲載しています。施設見学や一時保育面談時に相談を受けたり、「あおぞら広場」の参加者からも育児相談を受けています。 ・園長は港北区や幼保小連携事業、園長会に参加し、交流したり、研修に参加しています。 ・地域への子育て支援として、一時保育、交流保育を行っています。 ・平成27年度には、地域住民に向けて、小学校校長による「小学校に上がったら」という演目で講習会を開催しました。
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談についての広報はホームページで行っています。一時保育、園見学者にも積極的に声をかけて、園で実施している地域支援「あおぞら広場」「わくわく子育て広場」などの情報を提供したり、育児相談を受けたりしています。育児相談は随時受け付けています。 ・港北区役所、北部児童相談所、横浜市総合リハビリテーションセンターなど、関係機関のリストを作成し、事務室においており、保育士は必要な時に活用できます。 ・園長、主任保育士、担任保育士は、子どもの相談、保護者についての相談など、支援の統一を図るため、日常的に関係機関と連携を取っています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園は「地域との信頼関係の強化」を平成28年度の重点課題に定め、園内プロジェクト「信頼関係」で強化対策を講じています。平成27年度に地域に出向いて交流した回数は21回。今年度は25回を目標にし、園主催の「あおぞら広場」、港北区の公私保育園が行う合同育児講座「わくわく子育て広場」、近隣小学校や地域ケアセンターの訪問など積極的な活動が目まぐるしく行われています。 ・園主催の「あおぞら広場」を新横浜駅前公園で毎月第3火曜日に開催、通りすがりの親子と紙芝居、体操などして共にあそんでいます。大型の絵本による読み聞かせが好評で道行く親子に声掛けすると立ち止まって見てくれます。 ・横浜実践看護専門学校、横浜保育福祉専門学校などから学校教育の一環として実習生の受け入れや、中学校の職業体験の受け入れを計画的に行っています。 ・近隣の保育園4園と2歳児を対象に港北区保育園交流を定期的に行っています。駅前公園でバルーン遊び、ダンスなど行い交流を深めています。地域ケアセンター、小学校とも訪問して交流を図っています。 ・港北区が進めるベビーステーションに協力。突発的な子どものおむつ交換、授乳が無料でできるスペースを開放し、安心して子育てできる地域をめざしています。 ・日産スタジアムに4、5歳児が制作した鯉のぼり、近隣の交番に七夕飾りを届けたり、散歩先で清掃の手伝いをしたり、保育及び看護実習や学生の研究に協力したりして地域社会に対して友好関係を築き、同時にその存在をアピールしています。
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の情報はホームページ内で提供しています。運営法人である学校法人岩崎学園のホームページにアクセスする人は多く、同法人の3保育園のホームページにも多くの方がアクセスしているようです。保育園見学は、立地が駅前、有名な学校法人経営という有利さ故か、ホームページでは特別に広報はしていませんが、昨年は207名、今年は300人を超えるようです。専用の案内パンフレットを作り配布しています。直接電話で施設見学について園長または主任保育士が調整し、随時行っています。 ・外部媒体は子育て保護者向けの雑誌に掲載されています。 ・最も関心の高い一時保育利用者は年間3000人を超えるので、利用者または将来の利用者に向けて一時保育等の料金、条件など詳細な情報を提供しています。 ・保育所の問い合わせには園長が常時対応しています。 ・保育に支障の無いよう、保育の様子がよくわかる時間帯を見学時間とし、希望者の都合に対応しています。

IV-3 実習・ボランティアの受け入れ



・「学生指導の充実」を重視しており、「専門職としての学生指導を行う」と実習受け入れに積極的です。将来、園の保育士としての入職も期待しつつ、事実、実習を終え保育士になった学生が複数入職しています。

・運営法人が設置する専門学校の実習にも積極的に協力しており、横浜実践看護専門学校から「小児看護学実習」単位取得のため、3年生が25名、実習を行っています。「実習生受け入れマニュアル」と「実習に臨むにあたり」という文書があり、それに基づき実習前に綿密なオリエンテーションが行われています。また、横浜保育福祉専門学校からも6名の実習生が来ております。

・近隣の中学校から「職場体験」として4名が5日間体験学習に来ます。事前にパンフレットを渡し、園について情報を得られるように配慮しています。


・保護者には実習の受け入れをおたよりで知らせ、一貫した受け入れや指導ができるようにしております。

・ボランティアとして、ほぼ連日、学校帰りの横浜保育福祉専門学校の学生が午後4時過ぎから来て、掃除、保育補助をしております。夕涼み会や運動会等の行事にも参加しています。受け入れマニュアルがあり、それに基づき園の方針や、注意事項を説明し、トラブルを防いでいます。


・受け入れ担当は園長、育成担当は主任保育士と決め、日々、その日の担当保育者が一貫した指導を行い、受け入れの記録もしています。

・実習中は、子どもの午睡中に実習の振り返りや翌日の実習について質問や相談を受けたり、実習最終日には反省会も行い、実習日誌に実習生の意見、感想が述べられています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<p>・新任保育士に園長は人材育成を第一の課題として運営法人が設置する3保育園で共同作成した「人材育成プログラム」の推進に注力しています。保育士としての誇りと責任感、子育て支援に携わる喜びと達成感を感じさせ、使命感を持つことがキーとなるとの考えです。その方策として2つのプロジェクト「質の向上」「信頼関係」を立ち上げ、主任保育士、リーダー保育士を主軸に全保育士が参加し、継続的に議論、検討しています。</p> <p>・例えば保育サービスの「質の向上」では①保育士の質の向上②保育内容の充実③学生指導の充実、の3分野からとらえ、その各々に「目標値」を掲げ、その到達するための方策を議論するものです。保育士は事前に勉強する必要があり、自己啓発にもつながります。</p> <p>・市・区・民間主催の外部研修に平成27年度は計57回参加、平成28年度に65回参加を目標とする、とより注力しています。</p> <p>・研修後はレポート提出をし、内容について職員会議・ミーティング等で議題にします。報告会は研修出席回数が多く、1人2回以上と多いため、その時間が取れない悩みもあるようです。</p> <p>・近隣の保育園との合同研修では、実技や講演会などがあり、積極的に参加しています。</p>

- ・研修の内容によっては次回は参加をやめる講座もあります。保育士から人気の高い講座は「人権」「保育素材」「リスクマネジメント」に関する講座です。
- ・園では常勤保育士が多いためクラス担任は常勤保育士が担当しています。非常勤保育士は補助かフリーに廻っています。
- ・パート会議を月1回行い、共通認識をするためとともに、資質向上のための取り組みを行っています。非常勤保育士はベテランが多く、常勤の保育士が指導を受ける場面もあり、人間関係も良好です。
- ・園の保育士は常勤23名、非常勤6名で構成されており、毎年新卒の保育士を採用し、保育所運営に必要な人材を確保できています。
- ・保育士の資質向上のため期初に目標を定め、年2回の園長面談の際、自己評価の達成度の評価を園長と共に行っています。この評価は人事考課の評価にもつながります。年2回、自ら保育の振り返りをするなかでスキルアップのための研修受講、職員同士のコミュニケーションなど課題が浮かび上がり、その解決策も模索できます。特に職員7名が2月に「保育、教育理念講座」に参加し、理念に基づく保育の重要性を学んでいます。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="177 842 478 873">V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士はスキル向上と人事考課のために「保育士自己評価」を年2回記入し、自らの保育実践を振り返っています。「保育課程」に沿ったチェックリストは詳細にわたり膨大なものです。園長はこれに講評を加え、さらなるスキルアップにつなげています。 ・近隣保育園の園長会や、幼保小の研修会等で知った良いサービス事例は園に持ち帰り参考にしています。月2回の職員会議等で話し合い、保育士の資質・技術向上に活用しています。「質の向上」プロジェクトでは日々の見直しは毎日、全クラスの保育の見直しを週2回続けています。 ・障がい児保育に関しては横浜市総合リハビリテーションセンターの巡回相談で内容の検討・指導を受け保育の参考にし、活かしています。 ・保育内容についても自己評価を行っており、毎日記入するクラス保育日誌をベースに週案、月指導計画と繋がりを持たせています。それぞれに「反省・改善」欄があり、その繋がりを見ることができます。 ・年2回、「保育士自己評価」を行っています。 ・園では「質の向上」を掲げ、保育内容の充実のため、人間関係、運動、製作、表現の要素を入れた保育カリキュラムを随時見直しており、それに伴い保育士も自己研鑽に励んでおります。

V-3 職員のモチベーションの維持



・園長は「保育士としての誇りと責任感、子育て支援に携わる喜びと達成感を感じさせ使命感を持つこと」がモチベーションのキーとなると考えています。その方策として2つのプロジェクト「質の向上」「信頼関係」を立ち上げ、主任保育士、リーダー保育士を主軸に全常勤保育士が参加し、各目標値とそれに至る方策を検討しています。その中で、「研修参加を一人2回以上に増やす」「クラスを超えた会議を行いチームワークを良くし、相談をしやすい雰囲気をつくる」などの案が出ており、園長もその方針を了承しています。

・保育士の役割は職務分掌で明文化されています。期待される保育士像として職歴だけでなく、経験・能力・仕事への取り組み方・人間関係などの要素を内包したものになっています。

・主任保育士を始め、各保育士が緊急事態・園長不在時に正しい判断と行動ができるよう、権限委譲ができています。

・人材育成においては園長、主任保育士だけでなくリーダー保育士また先輩保育士が後輩保育士に対しての指導を務めることで責任能力を養えるよう明確化しています。

・園長・主任保育士は保育士一人ひとりに声を掛けたり、日々のミーティング・職員会議では意見や改善提案を出しやすいように心掛けています。

・年2回の園長職員面談には自己評価表と目標達成度を含めて人事考課が行われ、個人としての希望、満足度が話し合われます。モチベーションの強弱が見極められ、その対策も検討されます。

・経験の浅い若い保育士に自覚と責任を持たせ、経験を積んだ保育士がフォローする形の人材育成の方法も取り入れています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスの順守については、第一に就業規則があります。 ・「児童福祉法」に定める「保育士の守秘義務順守」や「保育士倫理」「社員倫理規定」などについて、保育士に周知されています。 ・運営状況の情報は定期的に港北区へ報告文書を提出し、開示されています。 ・他施設の不正・不適切な事例報告、情報は、日々のミーティング・職員会議で出し合い、注意喚起しています。 ・当園は岩崎学園新横浜1号館の1、2階を使用しており、ごみの排出は産業廃棄物業者と契約しています。横浜市の「3R夢（スリム）」を準用した岩崎学園方式で運用しています。 ・ゴミはできるだけ出さないようにし、分別化しています。牛乳パック等で玩具を手作りしたり、ティッシュペーパーのケースを半分にしたりして利用しています。 ・事務室では、使用していない場所を消灯するなど省エネルギーの取り組みをしています。 ・省エネルギーの促進・ゴミの減量化等の理解に配慮する取り組みから、「物を大切にすること」を子どもたちに日常的に伝えています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念、保育方針、保育目標は「入園のしおり（兼：重要事項説明書）」に記載し、保護者に配布をしております。また、ホームページに保育理念、保育方針を掲載し、常時見ることができるようになっています。 ・重要な変更として、園児数の増員・保育時間の変更が以前にありましたが、まず保育士に目的や決定理由、経過等を十分に説明し、保護者には保護者説明会で丁寧に説明していました。 ・アレルギー食対応に変更があった際、看護師、栄養士らと検討チームを組み、対策を講じた経緯があります。 ・第三者委員である主任児童委員・保護者代表は運営委員会の運営委員として園運営に参加しています。 ・主任保育士を園運営の実務責任者と位置づけ、積極的にその育成に取り組んでいます。主任保育士はリーダー研修を年4回受け、同法人保育園3園の主任保育士会議にも出席するなど計画的な人材育成がなされています。園の2つのプロジェクトのリーダーは主任保育士とリーダー保育士が勤め、リーダーの役割を果たしています。 ・主任保育士は園長の力になり、また現場を巡回して保育士の業務状況を把握し、業務や人材育成等を行っています。クラスは担当をしておらず、フリー保育士として補助や主任業務に専念しています。 ・主任保育士は各行事の進め方等、全てを把握し、業務の進捗状況や保護者対応など、様々なことへの問題について、相談のり、助言や指導・援助を行っています。 ・主任保育士は全保育士の相談に応じ、保育士同士の良好な関係維持のための配慮・助言を行い、心身の健康にも配慮しています。

VI-3 効率的な運営



- ・保育事業に影響のある情報、子ども・子育て支援法の改正等は法人の総務部・経営企画部子育て支援課が収集し、分析したものが園長、主任保育士に渡されます。園長は地域の園長会で地域の必要情報、保育園の新設、児童の事故、不審者情報など収集し、園運営の主要事項でもある「ネットワーク事業」「子ども権利条約」の研修に出席し、職員会議等で全保育士に情報を与えると同時に園運営に活用しています。
- ・一時保育事業は年間3,000人を超える実績を残していますが、例年、年度当初の4月は利用者が減少し、チラシ、利用者の紹介等で5月以降に増加する傾向を踏まえ、より安定化することを目指しております。
- ・当園は学校法人の保育事業部門であるためその性格上中期（3年）、長期（5～10年）の事業計画は必須事項となっています。
- ・運営法人が設置する3保育園が連携し、主任保育士会議を定例化、保育・サービスの共通化を図ることで運営の効率化が促進されつつあります。
- ・次代の組織運営のために園長は年4回、主任は6回外部研修に参加し、「常に変化する保育ニーズに応えられるサービスは何か」について情報収集に努めています。その結果を全保育士に職員会議やミーティングで発表しています。

利用者本人調査

平成 28 年 10 月 28 日、11 月 10 日

事業所名：岩崎学園新横浜保育園

【全園児】

<誕生会>

月に一回の誕生会で 3～5 歳児の保育室に全園児が集合します。今月は 10 人の子どもが誕生日を迎え、司会の保育士からのインタビューに一人ひとり答えます。「大きくなったら何になりたい？」という問いに、新幹線の運転手やプリンセス、ケーキ屋さん、忍者等。一人ひとりにお誕生日カードが手渡され、続いて他の全園児より「お誕生日おめでとう」の歌をプレゼントされました。最後に司会の保育士が、立てかけたテーブルの上端からいろいろな形をした絵を裏返しで見せ、それが何の絵だか当てるゲームをします。皆楽しそうに会を進めました。最後の締めは当番の 5 歳児が、終わりの言葉をしっかりと宣言しました。

【0 歳児】

<保育室に戻って>

0 歳児は保育士と一緒に座っています。ほとんどの子どもはベビーチェアに一人ずつ座っています。中には、シートを敷いた床に一人で座っている子どもや保育士に抱かれています。子どももいました。興味深そうに前方を見たり、保育士に寄りかかったり、話しかけたりする子どももいます。おとなしくその場になじんでいるようです。小さいながら、話す時、静かにする時の区別がつくようで、楽しんでいる様子がわかります。保育士も身振り手振りで子どもの話しかけに答えていました。

<保育士の読み聞かせ>

保育室の壁にもたれて座っている子ども達に、保育士が読み聞かせを行っています。保育士の手遊びの誘いに真似する子どももいます。犬、猫、熊の絵を見せて、保育士が鳴き声を発すると、子ども達も鳴き声を真似します。

<オムツ替え>

食後、昼寝前に、一人ひとり順番に着替えとオムツ替えを行っています。保育士は部屋の隅や、トイレの床に布製のシート(マルチカバー)を敷き、その上で子ども達の着ているものを脱がせ、着替えさせています。オムツ替えは場所を移動し、トイレ内にあるオムツ替え台の上で、扉を閉めて行っています。終始、静かな声で話しかけながら行っています。「〇〇ちゃん、うんちが出ていましたのでオムツ替えました。」静かな声で他の保育士に報告しています。着替えさせてもらった子どもは他の子どもが遊んでいるスペースに連れて行ってもらい昼寝までの時間を過ごしていました。

<食事>

まず、離乳食の子どもに食べさせるため、待ちながら泣いている完了食の子どももいました。保育士は「〇〇ちゃんごめんね。すぐ呼ぶからね」などと声をかけています。食事は1対2、1対4など、子どもの発育状況で対応しているようです。ベビーチェアにクッションを入れ、子どもが姿勢を保持して楽に食べることができるようにしています。0歳児ながら、保育士に手伝ってもらい、フォークを使って食べることができる子どもがいました。保育士は「〇〇ちゃん、フォーク頑張ろうよ」「えらいえらい」「アムアムして」「いっぱい入れちゃうとオエしちゃうから、お茶飲もうか」「お待たせしました」などと子どもに話しかけています。子どもが保育士の話しかけに「いや!」と答えると「いやかあ」などと笑いながら応答しています。子ども達はゆっくりそれぞれのペースで食べているため、テーブルによっては一人だけ残ることもあります。保育士は「食べられたね」「食べられるかな?」などと褒めたり、励ましたりしながら食事が終わるのを待っています。

<自由遊び>

食事などの待ち時間、自分の好きな保育士の所に行ってゴロンゴロンしたり、手に持てる小さな玩具(カスタネット、電話など)を持って遊んでいます。ゴロンゴロンしている子どもの上にゴロンとする子どももいて賑やかです。保育士は「♪お腹ポコポコ、なでなでリン」と、歌に合わせて子どもの身体に触り、子どもはスキンシップが嬉しそうです。

【1歳児】

<食事>

アレルギー児が2名おり、食事はブルートレイに乗せ、ラップをかけて名前付きの別テーブルで食事をしています。アレルギー児のテーブルを含めて、子ども達は5テーブルに分かれ、各テーブルに一人ずつ保育士が付き、静かに落ち着いて食べています。ほとんどの子ども達は一人でできることが多く、自力で食べています。時々、保育士がおかずをまとめるなどの介助をし、フォークでスープを食べようとした子どもに対して、「スプーンがいいんじゃない?」などと強制することなく提案しています。「ゆっくりね。パン詰まっちゃうから、もぐもぐしてね」「〇〇ちゃんえらいね。野菜食べてる?」「ピカピカしようね」「ピカピカになったね」など子どもを褒めています。また、「〇〇ちゃん柿好き? 柿がね、〇〇ちゃん待ってるの。スープ飲もうね」と、子どもの気持ちを引き出す声かけを行っています。おだやかな褒め言葉で食事を進めているようでした。食後、テーブルに着いたまま歯ブラシを口に入れてモゾモゾしていました。

<食事後>

食事が終わると、子ども達は皆、パジャマに着替え、廊下に出て、保育士と一緒に手遊びを楽しみます。その間他の保育士は保育室の床の拭き掃除とベッドの支度を進めます。

【2歳児】

<排泄>

順番にトイレに行って座っています。保育士の1人がトイレ内、1人がトイレの外で排泄準備でオムツを外したりしています。トイレは保育室内にあり、子どもの背の高さに合わせた囲いで囲まれて、プライバシーも保たれています。

<食事>

食事の前は保育士の絵本読み聞かせです。子ども達は皆、各自のエプロンを着けてテーブルに着き保育士の配膳を待ちます。各テーブルは子ども5人と保育士1人で、必要な子どもには食事支援をしています。早く食べた子どもはお替りを申し出ます。スープは人気で、すぐなくなりました。食事が終わると子ども達に濡れタオルが配られ、それで口を拭き、自分でエプロンを外します。次は歯磨きですが、保育士が援助していました。

<集団活動>

0歳児と1歳児の保育室の前のフロア中央に体操用マットを2枚敷き、その周りを順にうさぎの格好をして、つま先を上げてびよこびよこ歩いて回ったりしています。保育士1人に対して4人前後の子どもを1グループにしています。体操用マットを中央に敷くことで回る方向を決め、子ども同士がぶつからないようにしています。子ども達は、直前に行われていた誕生会で座っていたので、動くことで発散しています。保育方針の中で静と動を交互に行うという事があるようです。

<ハローウィンのカボチャ飾り作り>

各テーブルで保育士が用意したカボチャの形をしたオレンジ色の画用紙に黒い紙を口、目などの形に切り抜いて、貼りつけていきます。黒い口や目には保育士が糊着けをして、子どもに渡していきます。テーブルにより口の形や目の形が異なっています。子ども達は、保育士に話しかけながら、楽しそうに制作していきます。保育士は糊が付いた子どもの手を時々布巾で拭いていますが、中には自分で拭く子どももいます。

【3歳児】

<読み聞かせ>

保育士は子ども達を保育室の壁際に集めて本の読み聞かせを行い、「呼ばれたら順番にトイレに行きます」と声をかけたり、「♪おなかぺこぺこ」と何が食べたいか、子ども達に聞いていきます。他の2名の保育士はテーブルを出し、食事の準備を始めます。テーブルの上は消毒液を吹きかけ消毒します。場に馴染めない子どもが走り回っており、保育士は子どもに注意してテーブルを出していました。走り回る子どもは保育士が優しく抱いていました。

<子どもの叱り方>

泣きじゃくる子どもに対して保育士が「お友だちをパッチンしないでね」と静かに諭していますが、なかなか受け入れられないようです。保育士はトイレ横の他の子ども達から

は見えない静かな場所で論し、子どもへの配慮は充分でした。

<食事の風景>

3歳児の食育計画は、「主菜、副菜、主食、汁があることを知る」「箸の正しい使い方、かきこむのではなく挟んで口にもってゆく」「時計を使い食事の時間を決める」「お皿の各々の正しい置き方」を覚えるのです。

30数人が5皿（旬のニンジン、鶏の煮たものなど）をそれぞれ自分のテーブルに並べ、当番の子どもの「いただきます」の合図で一斉に食べ始めると賑やかです。実に楽しく食べていました。一つのテーブルに5人の子どもがかけ、保育士1人が2つのテーブルで子ども達の食べるマナーや、喫食状況を自らも食事をしながら見守ります。

あるテーブルでは、ほぼ皆、お箸を正しく使っていますが、5人の内1人はあまり上手くできていません。ご飯の食べ方も米粒を残さず食べる子どもがほとんどで、食事を作ってくれた人へのお礼の気持ちがあらわれています。楽しくおしゃべりしながら食べれば食事が進みます。お箸の使い方やお茶碗の持ち方など上手な子どももいれば、ふざけてお皿を叩く男の子もいます。今は出された食事は何でもみな食べているようにみえます。ほとんどの子どもが20分ぐらいで完食していました。

【4歳児】

<誕生会の後は椅子取りゲーム>

保育士が電子オルガンを弾き、止まったら椅子に座るというルールを皆で確認しながら遊んでいるのですが、馴染めない子どもがおり、「やりたくない」と椅子に座り込んでいる子どももいました。他の子どもが「立って、立って」などと言っていますが応じません。これとは別に、輪から離れ、保育士と一緒にいる子どももいます。椅子取りゲームは続きましたが、皆あまり乗り気では無いようで、子ども達の動きが緩慢になり、保育士のオルガン周りに何人か子どもが集まり始めました。子ども達は他の遊びをしたがるようになり、保育士の提案で椅子探しゲームに変更しました。

<スマート・ホット・キッズ>

岩崎学園新横浜保育園を出て10分、同法人の岩崎学園新横浜2号館3Fにある体育館に着きました。皆、持参の屋内用運動靴に履き替え、体育館の壁を背にして床に座ります。コーチからの注意事項を真剣に聞き、各自、名札を付けてもらいます。準備の済んだ子どもから、サッカーボール大の青いボールやオレンジ色のボールを受取り、投げたり、蹴ったりしながら走り回ります。次に、横6列に整列した子ども達に、保育士とコーチが走り方の見本を示します。広い体育館ですが、子ども達は端の壁から反対側の壁まで全速力で走り抜けます。何回も走り込んだ後、今度は後ろ向きに走ります。体育館全体を使い、40mを一人ひとり走り、ビデオに撮り、一人ひとりフォームについてコーチからアドバイスを受けます。なんと、アドバイスを受けた子どもはタイムが著しく向上していました。

<排泄>

ゲームの最中、保育士に「オシッコ」と伝えた子どもがいたので、保育士が1人つきトイレと一緒に行きました。子どもが用を済ませている間、保育士は外で様子を伺いながら待っていました。

【5歳児】

<スマート・ホット・キッズのない日>

今日は朝から園外活動です。玄関に2人ずつ並び、点呼を取っています。エレベーターで8階まで行き、階段で屋上に登ります。屋上の遊び場は150㎡とかなりの広さです。保育士のホイッスルで片足ケンケンや徒競争リレーの練習も行いました。腰を落として「カニ歩き」など、スマート・ホット・キッズで学んだ運動も行っています。

<食事>

調査員に対して興味津々の子ども達が、口々に挨拶してくれます。保育士から「今日は遅くなったので、〇〇まで食べたらお代わりしていいです」「でも、焦って食べて喉に詰まらせないでください」との注意を受けています。当番が前に出て献立を発表し、食事の挨拶をします。テーブルごとに静かにおしゃべりが行われています。

観察日は誕生会で行事食だったため、子ども達は楽しみな様子です。マカロニグラタン、サラダ、スープ、パン、柿。特にマカロニグラタンは子ども達の好物のようで、パンにグラタンを付けて食べたりしていました。少しでもグラタンをいっぱい食べるにはどうしたらいいかという話になり、ロールパンに穴をあけて、グラタンを詰めることになりました。保育士が「今年初めての柿」と言うと、子どもの中には「今朝食べた」「昨日食べた」などと言う子どももいました。子ども達は上手に食べています。食欲旺盛でほとんど全員がお代りをしています。嬉しそうにグラタンをもらって、「今度は少し熱い」と言いながら、口いっぱいにグラタンをほおばっています。何度もお代りに行く子どももいます。子どもに聞くと「給食は美味しい」と言っていました。

利用者家族アンケート

岩崎学園新横浜保育園

・0歳児	18
・1歳児	16
・2歳児	23
・3歳児	20
・4歳児	20
・5歳児	25
・記載なし	1
合計	123
回収率	88%

調査期間 平成 28 年 9 月 7 日～ 9 月 13 日

調査機関 NPO法人 中小企業再生支援

■保育園の基本理念や基本方針についておたずねします。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

1 よく知っている13名10%	3どちらともいえない 20名16%	4 あまり知らない 25名20%
2 まあ知っている58名47%		5 まったく知らない6名5%
合計 123		

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)

1 賛同できる 53名43%	3どちらともいえない 2名1%	4 あまり賛同できない 0名0%
2 まあ賛同できる16名13%		5 賛同できない 0名0%

■ここからは保育園のサービス内容について、満足度をおたずねします。

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

(上段の単位は人)	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
見学の受け入れについては	73	29	2	0	19
	59%	24%	2%	0%	15%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	74	34	7	0	8
	60%	28%	6%	0%	6%
園の目標や方針についての説明には	56	53	6	1	7
	46%	42%	5%	1%	6%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	67	44	6	2	4
	54%	36%	5%	2%	3%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	59	55	3	3	3
	49%	45%	2%	2%	2%
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	65	45	8	3	2
	53%	37%	6%	2%	2%

問3 保育や行事の年間計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他
年間の保育や行事についての説明には	73	37	10	1	2
	59%	30%	8%	1%	2%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	43	49	9	2	20
	35%	40%	7%	2%	16%

問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 なお、乳幼児期の保育は、教育的なねらいを持った遊びを通して行われています。

(〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

「遊び」について	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	74	44	4	0	1
	60%	36%	3%	0%	1%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	61	43	16	2	1
	50%	34%	13%	2%	1%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	73	39	5	2	4
	59%	32%	4%	2%	3%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	56	42	14	4	7
	46%	34%	11%	3%	6%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	71	43	9	0	0
	58%	35%	7%	0%	0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	60	52	5	0	6
	49%	42%	4%	0%	5%

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
給食の献立内容については	92	25	3	1	2
	75%	20%	2%	1%	2%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	88	28	5	0	2
	71%	23%	4%	0%	2%
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	88	31	1	2	1
	71%	25%	1%	2%	1%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	81	26	9	3	4
	66%	22%	7%	2%	3%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	78	23	5	2	15
	63%	19%	4%	2%	12%
お子さんの体調への気配りについては	81	31	10	1	0
	66%	25%	8%	1%	0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	71	35	8	4	5
	58%	28%	7%	3%	4%

問5 保育園の快適さや安全対策などについていかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
施設設備については	90	27	2	2	2
	72%	22%	2%	2%	2%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	80	40	2	0	1
	65%	32%	2%	0%	1%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	79	36	4	2	2
	64%	29%	3%	2%	2%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	64	35	16	6	2
	52%	28%	13%	5%	2%

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	55	52	10	3	3
	45%	43%	8%	2%	2%
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	76	34	10	3	0
	62%	28%	8%	2%	0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	71	41	4	5	2
	58%	33%	3%	4%	2%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	56	49	9	9	0
	46%	40%	7%	7%	0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	66	41	11	3	2
	54%	33%	9%	2%	2%
保護者からの相談事への対応には	62	47	9	2	3
	51%	38%	7%	2%	2%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	60	42	5	4	12
	49%	34%	4%	3%	10%

問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
あなたのお子さんが大切にされているかについては	84	30	5	2	2
	68%	24%	4%	2%	2%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	91	32	0	0	0
	74%	26%	0%	0%	0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	64	27	4	0	28
	52%	22%	3%	0%	23%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	79	32	6	3	3
	65%	26%	5%	2%	2%
意見や要望への対応については	63	38	9	4	9
	52%	31%	7%	3%	7%

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

総合満足度は	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
	78	38	5	0	2
	63%	31%	4%	0%	2%

【実施概要】

実施期間：平成28年9月7日～平成28年9月13日

実施方法：全園児の保護者にアンケート用紙と回収用封筒を配布し、無記名・密封状態で園に設置した回収ボックスにより回収し、全てを評価機関に持ち帰り分析した。

回収率：配付140件、回収123件、回収率88%

【結果の特徴】

●園の保育目標や保育方針について「よく知っている」「まあ知っている」と答えた割合は57%となっており、付問として「よく知っている」「まあ知っている」と回答した保護者に園の保育目標や保育方針に賛同できるか問うた所、「賛同できる」が43%、「まあ賛同できる」が13%と合わせて56%となっております。園の保育目標や保育方針を知っている保護者のほぼ全員が、これに賛同しておりました。この結果は、保護者の内訳から見てほぼ妥当な数字に思われます。

●項目ごとの設問に関しては、満足度が80%を超える項目がほとんどです。その内、特に満足度の高い項目は、問4の『「遊び」について』の「クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)」、『「生活」について』の「給食の献立内容については」「お子さんが給食を楽しんでいるかについては」「基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては」が、高評価になっています。また、問5の「施設設備については」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては」、問6の園と保護者との連絡・交流についての各項目、問7の職員の対応についての各項目も高評価となっています。

●「どちらかといえば不満」が比較的多い項目は、「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については」が13%となっております。立地上、働いている保護者が多いということも踏まえ、発生状況などをより早く連絡してほしいという要望があると思われます。

●総合的な満足度は「満足」が63%、「どちらかと言えば満足」が31%となっており、合わせて94%(回収数123件の内116件)が、満足と評価をしています。